

ピノキオ児童公園の誕生  
 ルーテル幼稚園に  
 近い東雪谷三丁目二  
 十五番に児童公園が  
 できました。  
 広さは約七〇〇㎡、  
 まわりに低い木を配  
 し、入口に大きな樺  
 と、大田区の木であ  
 る楠が植えてありま  
 す。  
 ベンチ、時計、灯柱、  
 遊具や水飲場等は、従来  
 の公園と同じに設置され  
 ています。が、低木の近く  
 にチップ（木屑）が敷き  
 つめてあります。これは  
 雨水が地下に浸透するよ  
 うにとの企画です。



とつけました。  
 良い環境で、お子さん  
 が、楽しく遊べるよう園  
 内に、犬をいれない事な  
 ど、協力をお願いします。  
 又、今まで池雪小学校  
 の間に借りていた自治会  
 の防災倉庫を公園隅に移  
 しました。  
 （東雪 直井 和子）

## 区立学校紹介 貝塚中学校

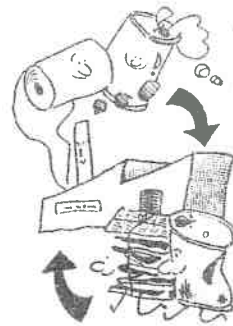


### 『思いやりの心を大切に』

緑に囲まれた静かな高台に立つ白い校舎は、一見学校とは思えない程、洒落ていて、美しい雰囲気を持っています。建物ばかりではなく、四百七十名の生徒たちは、生き生きと学校生活を楽しんでいます。

本校では、未来の社会を担う今の生徒たちに「豊かな心と、たくましく生きる力」を身につけさせることを目指して、昨年度から「思いやりのある心を持ち、進んで、福祉活動に取り組む生徒の育成」を目標に掲げ、その具体化に力を注いでいます。

実践面として、思いやりの心を育てる道徳の授業の実施、全校による一斉道徳公開授業を行い、多くの方々に、参観していただきました。



また、ボランティア活動では、月二回、土曜日に行う空き缶回収や、毎週水曜日、始業前の公園清掃などを実施しています。これらは、生徒会役員やボランティア委員が中心となって行っていますが、一般生徒の参加も徐々に増え、すっかり定着してきました。

さらに、運動会や若木祭（文化祭）には、敬老席を設け、ご老人を招待したり、近隣の社会福祉施設を訪問しての吹奏楽部の演奏など、地域の人々との結びつきも、少しずつではありますが、深まりつつあると言えます。どれも、はじめは小さな一歩ですが、それが徐々に広がりを見せ、大きな流れとなって多くの人々の心を動かすようになることを信じています。

そして、何よりも、生徒たちの心の中に播かれた思いやりの種が大きく育って花開き、実ることを願って、さらに活動が続けたいと考えています。

（教頭 明石 敦子）

# ふれあい雪谷

平成七年

## 新年号



【福祉活動に取り組む貝塚中学校の生徒たち】

貝塚中学校 及川 恵理さんの作品



### 散歩道

#### 昭和三十年頃の猿坂の思い出

（上池台五丁目22番と24番、26番の間の坂道）は、関東ローマ層特有の赤土で、雨の降るとそれはひどい泥んこ道になりました。郵便配達の人はいつも長い棒を持って自転車の車輪に貼りつ

つポツンとあるばかりでした。夜など不気味に暗く、お化けが出そう、脇目もふらず、一目散に走り抜けたものです。タクシー強盗も多発していた記憶があります。

中谷駐在所のどぶ川には、ザリガニやどじょうが泳いでいて、とても良い遊び場でした。

世の中便利になりましたが、今も昔も変わらないのは、冬の風の強い日の富士山の景色ばかりとなつて、チョッピリ淋しく感じています。

昔、この坂付近は、猿が多くなり、この名が付けられたのだと考えられています。

（上池上 松本 庸行）

#### 編集後記

新年おめでとうございます。  
 「ふれあい雪谷」は、創刊以来、満四年が経過いたしました。今後とも、より親しまれる地域情報紙を目指し、委員一同努力する所存です。



編集委員の松川五十五さん（希望ヶ丘）が昨年十月で交替されました。長い間ご苦勞様でした。

（小池 樽村 昌安）

新編集委員の紹介  
 （希望ヶ丘自治会）  
 米川 実 電話三七二七―八八二八

（発行）わがまち大田雪谷地区推進委員会

（編集）ふれあい雪谷編集委員会

連絡先 大田区雪谷特別出張所内  
 大田区雪谷四―三―二十三  
 電話 三七二九―五一―一七

（発行日）平成七年一月一日  
 通巻 第十七号

# 今年一番やりたいことは何ですか??

今年はいのしし年。ということで、雪谷地区に住む年男、年女の方々に「今年の一  
番やりたいこと」を取材してみました。

ぼくは勉強より  
野球が大好きだ。  
将来はプロ野球に  
入り巨人の広沢選  
手のように活躍し  
たい。

今年中学生。  
一層練習にはげむ  
つもりだ。

【12歳】  
(希望ヶ丘 嘉手納知生)

パソコンをマスタ  
ーし、今年は一級の  
資格を取りたい。

【24歳】  
(東中 直井 幸子)

営業に異動したの  
で、仕事に力を入れ  
たい。海外でスキー  
のインストラクター  
の資格を取りたい。

【24歳】  
(東中 石黒 玲子)

今年は、猪のよう  
に失敗を恐れず、思  
ったことに向かって  
真直ぐに突き進みた  
いと思っています。

また、悔いのない  
ような、素晴らしい  
年にしてみたいと思  
っています。

【36歳】  
(東雪 倉持 寿哉)

今、第二の青春  
真っただ中の  
年代と信じ、年  
末に後悔しない  
様、おじさんパ  
ワーを見せたい。

【48歳】  
(上池上 畑 直紀)

昨今の不況の波  
を被り、十分な仕  
事(建設設計)を  
受注出来ない状況  
です。贅沢な希望  
として、やりきれ  
ない程の仕事を受  
けてみたいです。

【60歳】  
(石川台 勝美)

かつての抑留  
の地、ロシア、  
シベリアを含め、  
世界一周旅行を  
したい。(但し、  
予算と暇次第)

【72歳】  
(小池 鍋木 鎌作)

生まれて七回目  
の干支を元気に迎  
えました。今年も  
多くの方と地域の  
ための奉仕活動参  
加を続けたいと思  
っています。

今年も頑張りま  
す。

【84歳】  
(笹丸 田村 和祐)



# デポジット制度

平成6年10月20日から雪谷酒販協同組合でデポ  
ジットモデル回収を実施しています。そこで、この事  
業を推進している東京都清掃局と、雪谷酒販協同組合  
に寄稿していただきました。

## デポジット制度施行の現状と課題

東京都では、平成6年10月20日から雪谷酒販協  
同組合と協力して「デポジットモデル回収事業」を始  
めました。デポジット制度はごみの減量と再利用によ  
る資源回収の有力な手法の一つです。

今回のモデル事業では、缶ビールの  
通常価格に5円上乗せして販売し、空  
き缶を事業参加店に持参すると上乗せ  
分の5円を返却することとしています。

しかし、対象を一銘柄に限定しての  
試行となっているためか、これまでの  
回収実績は15%以下と非常に低い状況にあります。

このような状況を見ると、デポジット制度を拡充し  
ていくためには、①都民がごみを資源にかえていく意  
識改革を行うこと②各メーカーが、価格の上乗せは販  
売低下につながるなどの意識を変えること、などの取り  
組みが必要ではないかと思ひます。

そのためには、全国的な規模で全銘柄を対象にデポ  
ジット制度を実施し、義務付けることが効果的ですが、  
今回の試みは、その第一歩と考えています。

ごみ減量は、都民一人ひとりの協力が何より大事で  
す。皆様のご理解とご協力を切にお願い致します。

(東京都調布清掃事務所 稲山 健次)

## デポジット制度へのきっかけ

平成4年10月、雪谷酒販協同組合青年部で、海へ  
ダイビングに行った時、海の底に飲料の空き缶を見つ  
け、私達が毎日売っている飲料の空き缶が、無責任に  
こんな所にまで捨てられて地球の環境を  
汚しているのだということを感じました。

この事がきっかけとなり、いくつかの  
リサイクル活動を、大田区の協力の下に  
行っていたところ、その活動が東京都の知るところと  
なり、今回のデポジットモデル事業となった次第です。

この事業を行っている現在、多く聞くお客様の声が  
「始めから通常価格より高く買うのではメリットがな  
い」「洗ってつぶすのは、めんどろうだ」などです。地  
球環境を守る為には、多くの人々のリサイクルに対す  
る意識を向上させ、空き缶は捨てる物ではなく買った  
店に返す物という習慣を身に付けることが必要ではな  
いでしょうか。

我々の今回の事業が、この習慣を身に付けるきっか  
けとなっていたいただければ、たいへんうれしく思います。

(雪谷酒販協同組合 宇佐美 貴啓)



デポジット識別シール

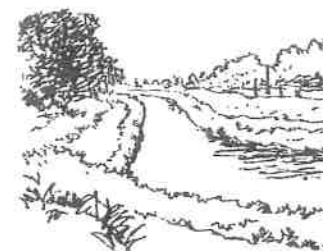


# 自治会リレー随筆

## 呑川の昔

昔といっても50年位前のことです。

その頃の川の両側の道は舗装されておらず、土の  
ままでした。川の土手も、今の様な切り立ったコン  
クリートの壁ではなく、緩やかな傾斜の土手には、  
草が一面に生えていました。深さは今の半分位だっ  
たでしょうか。田舎の小川を思いうかべればいいか  
もしれません。また夏には、川の中で遊んでいる子  
供も見られました。



雪谷小学校のある所は、  
どこかの名ばかりの会社  
のグラウンドで、使われ  
ないままの草原になっ  
ていました。戦争が終っ  
てしばらく畑になってい  
ましたが、児童数がふえ

きたため、雪谷小学校が新設されたのです。

現在呑川沿いの道に桜が植えられています。昔は、  
両側の土手に大きな桜の木が、ずっと植えられてい  
ました。どこからどこまで植えられていたか、はっ  
きり覚えていませんが、春になると両側の桜が満開  
になり、とてもきれいで土手を散歩するのが楽しみ  
でした。

終戦後、いつのまにかこの桜が全部切られてな  
くなってしまいました。燃料にされたのだらうとみん  
なは言っていました。現在少しずつ復活しています。

呑川と新幹線が交わるあたりは、ほとんど畑でし  
た。この頃は品鶴線といって貨物列車専用路線でし  
た。線路の両側の土手もなだらかな傾斜で、草が一  
面に生えていました。

全体的にのどかな風景でした。

(希望ヶ丘 米川 実)



## 俳句

新光の道ひとすじへ 初詣

水仙を 活けて部屋ごと 日の光

(東雪 宇新明歌子)

集いたるばかりに濁る ゆりかもめ

上池上 山田 菊枝

歩くこと 己れに課して 初詣

初春や 鴨や扇の 水尾重ね

(小池 浅井 鈴子)

客よりも 先に酔ゆく 年酒哉

(なんしめな)

還暦や 心新し 初こよみ

(東中 菅野 哲男)